

取扱説明書

IPS LED 液晶モニター

このたびは LG モニター製品をお買い求め頂きまして、
誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

34UC87M

目次

3 ライセンス

4 設置する

- 4 付属品を確認する
- 5 製品とボタンの説明
- 5 - OSDジョイスティックの使用方法
- 6 - 出入力端子
- 7 持ち運びのご注意
- 8 モニターを設置する
- 8 - スタンドの組み立て
- 9 - テーブルに設置する
- 9 - スタンドの高さの調整
- 10 - 見やすい角度に調整する
- 11 - ケーブルを整理する
- 11 - ケンジントン (Kensington) ロック
- 12 - 壁に取り付ける

14 接続する

- 14 PCに接続する
- 14 - HDMI接続
- 15 - DisplayPort接続
- 15 - Thunderbolt (⚡) 接続
- 16 AV機器に接続する
- 16 - HDMI接続
- 16 外部機器に接続する
- 16 - USBケーブル接続 - PC
- 17 - ヘッドホンを接続する
- 18 - IR接続

19 LG MONITOR SOFTWAREのインストール

21 詳細設定

- 21 メインメニューの表示
- 21 - メインメニューの機能
- 22 ユーザー設定
- 22 - OSDメニュー
- 22 - -かんたん設定
- 23 - 画面サイズ
- 24 - 機能
- 26 - PBP (ピクチャーバイピクチャー)
- 27 - 画質
- 28 - 色指定
- 29 - 設定
- 30 - リセット

31 困ったとき

33 仕様

- 34 工場サポートモード (プリセットモード、HDMI/ DisplayPort/ Thunderbolt PC)
- 34 HDMIタイミング (映像)
- 34 電源インジケーター

35 正しくご使用いただくために

- 35 モニターを使用するときの正しい姿勢

ライセンス

該当するライセンスはモデルによって異なります。ライセンスの詳細については、www.lg.com/jp を参照してください。



HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。



VESA、VESA ロゴ、Display Port Compliance ロゴ、Display Port Compliance ロゴ（デュアルモード ソース用）はすべて、Video Electronics Standards Association の登録商標です。



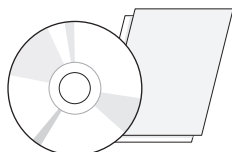
MaxxAudio および追加の MAXX の商標は、Waves Audio Ltd. の商標および登録商標です。

設置する

付属品を確認する

箱の中身を確認してください。付属品が不足している場合は、製品を購入した販売店にお問い合わせください。

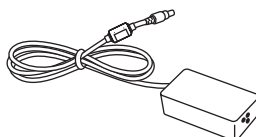
このマニュアルは日本で発売する製品を前提に作成されています。日本以外でお求めの場合、製品型番、製品の仕様、付属品等が異なることがあります。



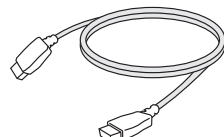
CD-ROM / カード



電源コード



AC/DC アダプタ



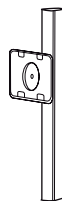
HDMI ケーブル



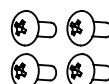
DisplayPort ケーブル



スタンドベース



スタンドネック



ネジ 4 本
(M4 x 10)



ケーブルホルダー



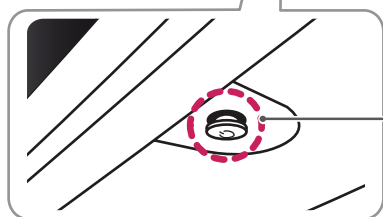
注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、正規の付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 非正規の付属品の使用による破損や怪我は、保証の対象外になります。
- 付属の部品を使用することをお勧めします。
- LG が推奨していない汎用ケーブルを使用すると、画面が写らなかったり画像にノイズが発生したりする場合があります。

ヒント

- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品の品質向上の目的で事前の通知なしに変更されることがあります。

製品とボタンの説明



OSD ジョイスティック /
電源ランプ

- ・ オン：電源オン
- ・ オフ：電源オフ
- ・ 点滅：スタンバイ

OSD ジョイスティックの使用方法

OSD ジョイスティックを指で押したり、前後左右に動かしたりすることで各種機能を簡単に操作できます。

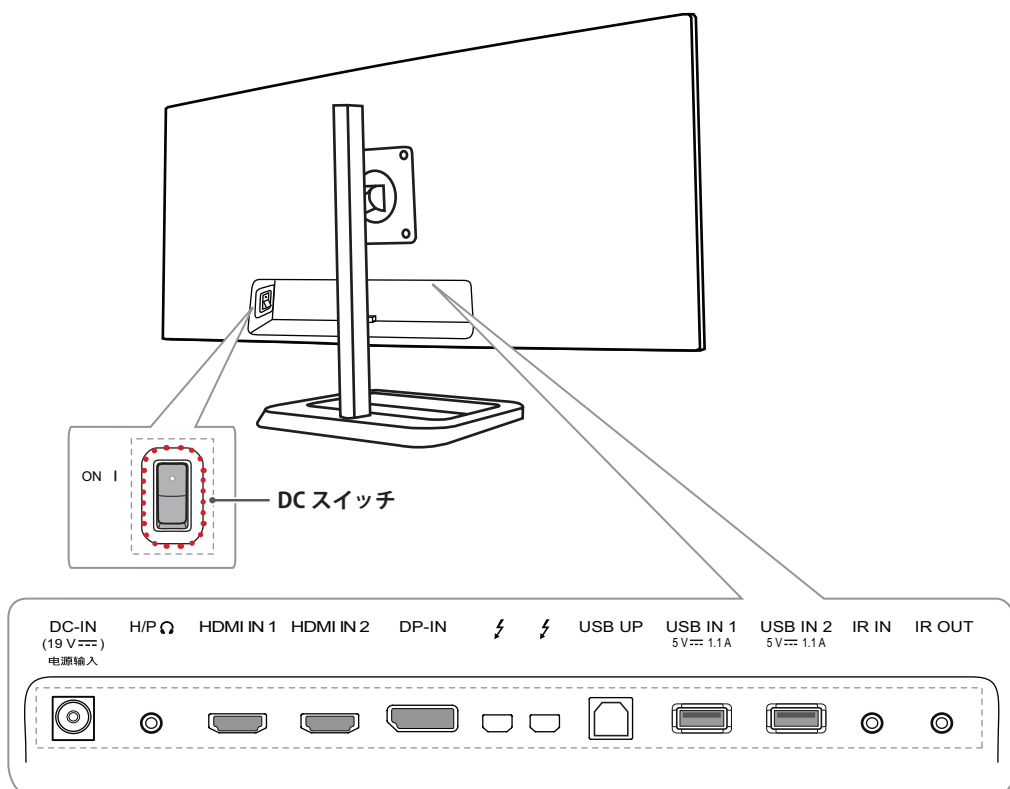
基本機能

		電源オン	OSD ジョイスティックを指で押すと、モニターの電源がオンになります。
		電源オフ	OSD ジョイスティックを指で押し続けると、モニターの電源がオフになります。
		音量コントロール	OSD ジョイスティックを左右に動かすことで音量を調整できます。

ヒント

- ・ OSD ジョイスティックはモニターの底面に付いています。
- ・ モニターの電源を入れる前に、製品の背面のDCスイッチがオンになっていることを確認してください。

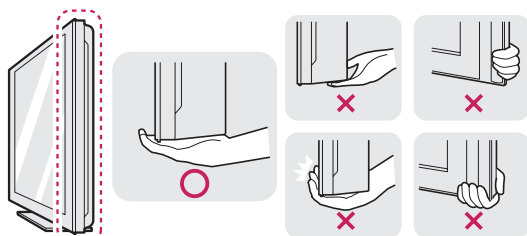
出入口端子



持ち運びのご注意

モニターを動かしたり持ち上げたりする際、以下に注意して、モニターに傷などが付かないよう、安全に運んでください。

- モニターの梱包に使用されていた箱などを使用してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを動かしたり持ち上げたりする前に、電源コードとケーブルをすべて外してください。
- モニターのフレームの上下をしっかりと持ってください。パネルを直接つかまないでください。

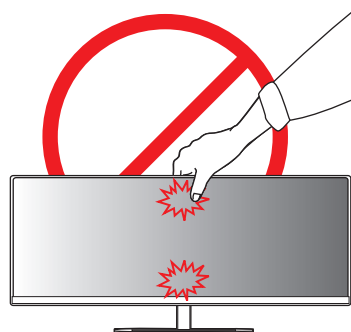


- モニターを持つ場合、製品の背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。
- モニターを運ぶ際は、モニターに衝撃を与えたり、過度な振動を与えたりしないでください。
- モニターを運ぶ際は、モニターを垂直にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでください。

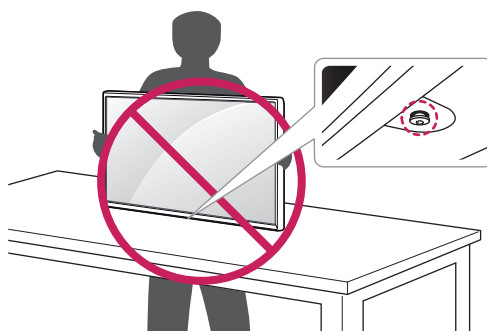


注意

- 画面には触れないようにしてください。画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。



- モニターの底面には OSD ジョイスティックがあるため、スタンドを使用しないとモニターがぐらついて倒れるおそれがあり、モニターの損傷または怪我の原因となります。また、OSD ジョイスティックの故障につながるおそれがあります。

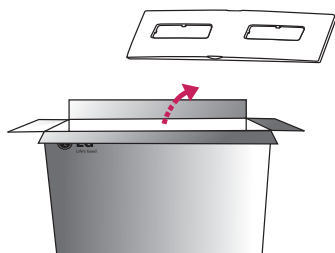


モニターを設置する

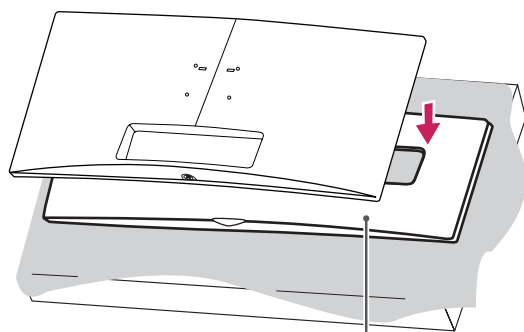
スタンドの組み立て

注意

- 画面を保護するため、梱包用の発泡スチロールをモニターの下に敷いて組立作業を行ってください。

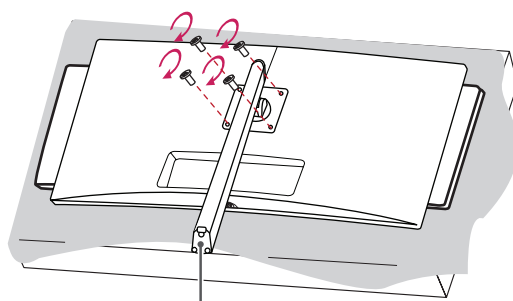


- 1 梱包箱の上に板状の梱包用発泡スチロールを置き、その上にモニターの背面が上になるように置きます。



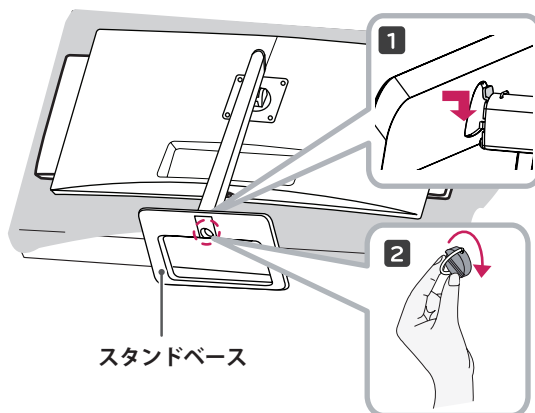
梱包用発泡スチロール

- 2 4か所ネジ止めしてスタンドネックをモニター本体に取り付けます。



スタンドネック

- 3 スタンドベース底面にあるネジを時計回りに回し、スタンドベースを固定します。



スタンドベース

注意

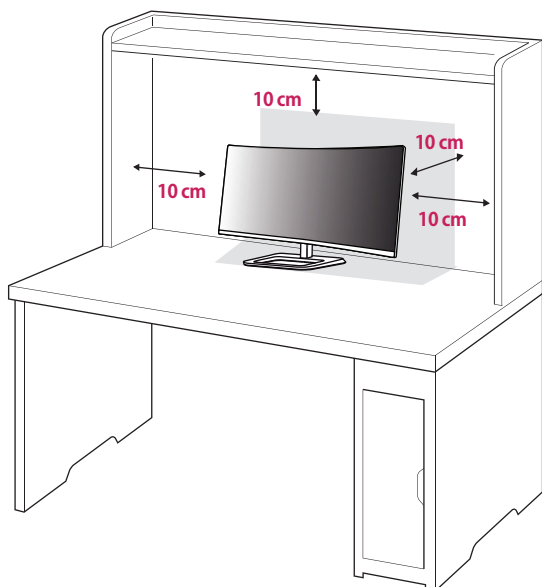
- 実際の製品はイラストと異なる場合があります。
- ネジを締めるときに過剰な力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。過剰な締めすぎによる破損に関しては、保証の対象外になります。
- スタンドベースをスタンド本体に取り付けた後でネジを締め付けるときは、手でスタンドベースをしっかりとつかってください。
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがスタンドから外れて落ち、けがをする可能性があります。
- モニターを持ち運ぶ際は、画面には触れないでください。画面が破損する場合があります。画面ではなく、スタンドネックまたはフレーム部分をつかんでください。

ヒント

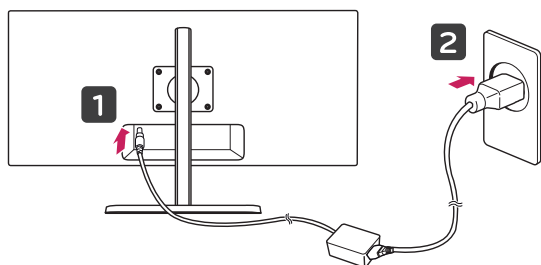
- モニターからスタンドを取り外すときは、組立の手順を逆に行ってください。

テーブルに設置する

- 1 モニターのを持ち上げ、直立させた状態でテーブルに置きます。
十分な通気性を確保するため、背後および周囲 10 cm 以上の空間を空けて設置してください。



- 2 モニター本体に AC/DC アダプタを接続して、AC/DC アダプタと電源コードをつないで電源プラグをコンセントに差し込みます。



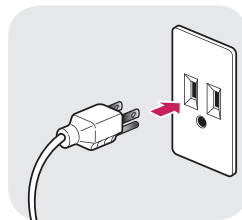
- 3 モニター本体下部の (OSD ジョイスティック) を押して電源をオンにします。



注意

- モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電するおそれがあります。

電源コードの接続に関する注意事項

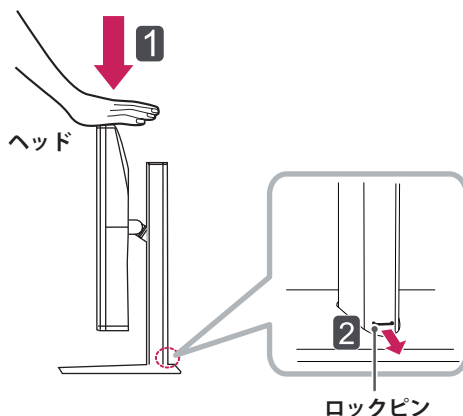


110 V

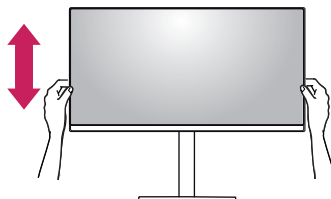
- 製品パッケージ付属の電源コードを使用して、アース付きコンセントに接続してください。

スタンドの高さの調整

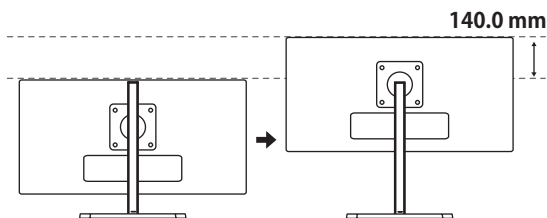
- 1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
- 2 ヘッドを下側に押してロックピンを引き抜きます。



- 3 モニターを両手でしっかりつかんで高さを調整します。



- 4 最大で 140.0 mm の高さに調整できます。

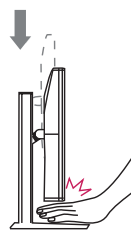


注意

- モニターを使用中は、外したロックピンは再挿入する必要はありません。ただし、梱包箱などに入れて輸送するときなどは、スタンドを固定するためにロックピンを挿入してください。ロックピンは紛失しないように大切に保管してください。



注意



- 画面の高さを調整するときに、画面とスタンドベースの間に手を置くと、はさんでケガをするおそれがありますので、スタンドベースの上に手を置かないようにしてください。

ロックピンを抜くときの注意

スタンドベースを取り付けていない状態でロックピンを引き抜くと、スタンドネックの高さ調節部が飛び出してけがをする恐れがあります。ロックピンを抜くときは必ずスタンドベースを取り付けて、設置した状態で抜いてください。

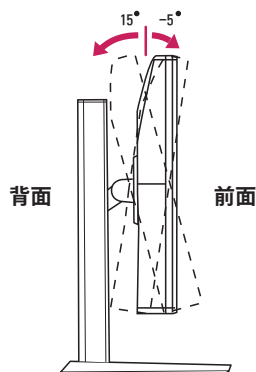
スタンドベースを取り外すときの注意

ロックピンを抜いたままの状態でスタンドベースを取り外すと、スタンドネックの高さ調節部が飛び出してけがをする恐れがあります。スタンドベースを取り外す際は、まず、ロックピンを差し込んでから行ってください。

- ①モニターを設置させた状態で、高さ調節を一番低い位置にしてロックピンを差し込みます。
- ②高さが固定されたことを確認してください。
- ③スタンドベースを取り外します。

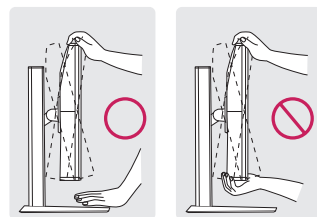
見やすい角度に調整する

- 1 スタンドに取り付けたモニター本体を直立させた状態にします。
- 2 画面の角度を調節してください。見やすい角度に画面の角度を前後に調整してください。

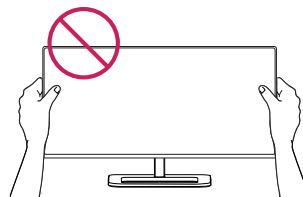


注意

- 画面の角度を調整する際、フレームの下部を押さえないでください。指を挟むなどしてけがをする恐れがあります。

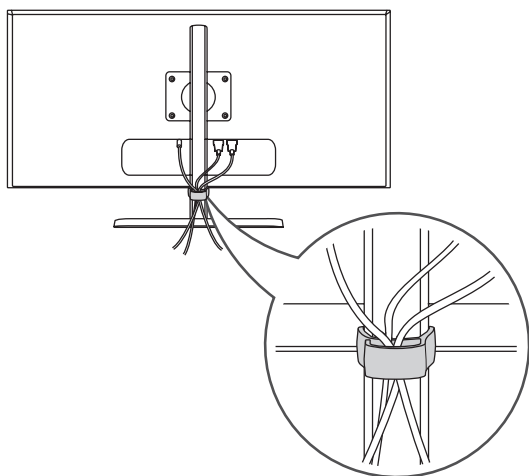


- 画面の角度を調整するときは、フレームを持って調整してください。画面のパネルには触れないようにしてください。



ケーブルを整理する

イラストのようにケーブルホルダーを使用してケーブルをまとめます。

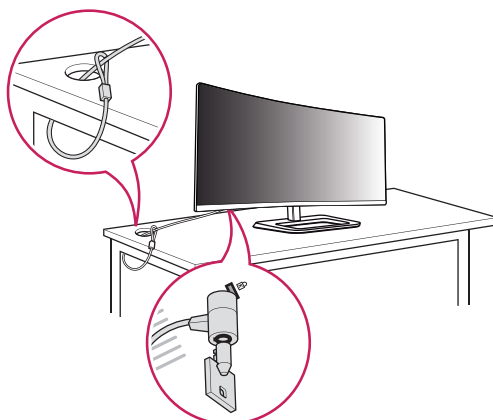


ケンジントン (Kensington) ロック

ケンジントンロックを利用することにより盗難防止に効果があります。

Kensington ロック用のスロットは、モニターの底部にあります。取り付けと使い方の詳細については、Kensington セキュリティシステム付属の取扱説明書を参照するか、<http://www.kensington.com> をご覧ください。

Kensington ロックのケーブルでモニターをテーブルに固定します。



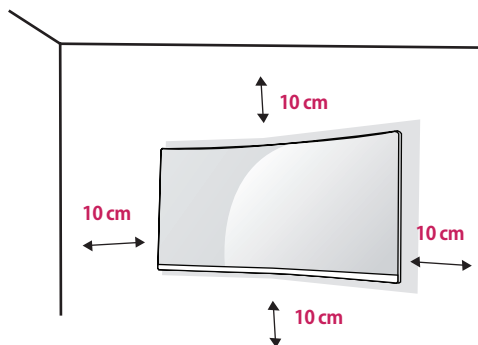
ヒント

- Kensington ロックのお求めは最寄りの PC ショップや家電量販店にお問い合わせください。

壁に取り付ける

使用時の発熱による本体の高温化を避けるため、上下左右および壁より 10cm 以上の空間を確保できる場所に設置してください。

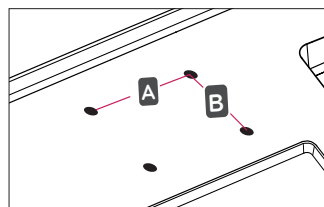
詳細な設置方法については、別売の壁掛け金具に付属する取扱説明書をご参照ください。



壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具（別売）を取り付けます。壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

- 1 壁掛け金具に付属しているネジよりも長いものを使用すると、モニターの内部が破損するおそれがあります。
- 2 VESA 規格以外のネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。当社は、規格外のネジの使用に関する事故については、保証の対象外となります。

• Wall Mount (A x B)



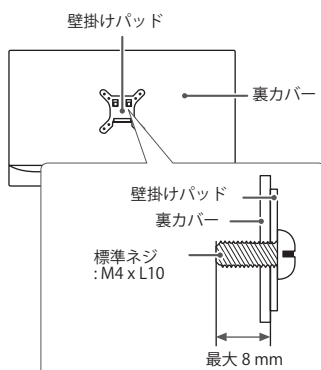
ヒント

- VESA 規格に準拠する壁掛け金具とネジを使用してください。
- 取り付けに関する詳細には、壁掛け金具付属の取扱説明書をご覧ください。また、取り付けに必要な部品は壁掛け金具に付属しています。
- 壁掛け金具は別売りです。
- ネジの長さは、壁掛け用ブラケットによって異なります。適切な長さのネジを使用してください。
- 詳細については、壁掛け金具付属の取扱説明書をご覧ください。

Wall Mount (A x B)	100 x 100
スタンドのネジ	M4 x 10mm
必要なネジの数	4

! 注意

- 感電のおそれがありますので、モニターを移動または設置する場合は、先に電源コードを抜いてください。
- モニターを天井または傾きのある壁面に取り付けると、製品が落下し重大なけがを負う可能性があります。
- ネジを締め付けすぎないようにしてください。締めすぎにより破損した場合、保証の対象外となるのでご注意ください。
- VESA 規格に適合するネジおよび壁掛けブラケットを使用してください。誤った使用方法や、VESA 規格に準拠しない金具の使用による破損やケガについては弊社は一切の責任を負いません。
- 外表面から裏カバーまでネジの長さは 8 mm 以下にしてください。



接続する

OSD ジョイスティックを押し、[Menu (メニュー)] → [かんたん設定] → [入力] の順に選択し、入力端子を選択します。



注意

- 画面を指で長時間押し続けしないでください。一時的に画面が乱れることがあります。
- 映像の焼き付きを防ぐため、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。スクリーンセーバーのご使用をおすすめします。

ヒント

- 電源コードをコンセントに接続する際には、アース付きマルチソケットまたはコンセントをご使用ください。
- 本機が冷えた状態で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは製品不良ではありません。

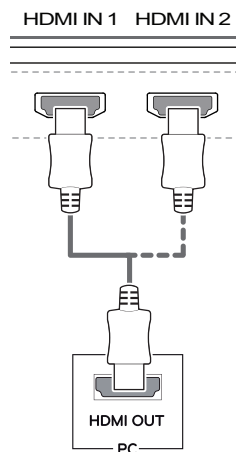
PC に接続する

- 本機は、プラグアンドプレイに対応しています。

* プラグアンドプレイ：PC に機器を接続して電源を入れると、設定や操作をしなくても、PC で認識して OS の標準ドライバがインストールされます。

HDMI 接続

PC とモニターを HDMI 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターを HDMI ケーブルで接続します。

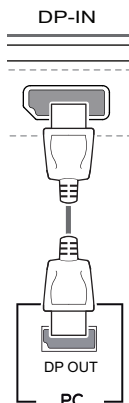


ヒント

- 付属の HDMI ケーブルを使用してください。それ以外のケーブルを使用すると、正常に映像が映らないことがあります。
- PC を HDMI で接続したときは、画面の解像度や画面サイズが正常に表示されないことがあります。
- DVI-HDMI / DisplayPort-HDMI など、変換ケーブルを使用した場合、互換性の問題が発生することがあります。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証された HDMI ケーブルをご使用ください。保証されていない HDMI ケーブルやハイスピードでない標準 HDMI ケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次の HDMI ケーブルのご使用を推奨します。
 - ハイスピード HDMI[®]/TM ケーブル
 - ハイスピード HDMI[®]/TM ケーブル (イーサネット対応)

DisplayPort 接続

PC とモニターを DisplayPort 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターを DisplayPort ケーブルで接続します。

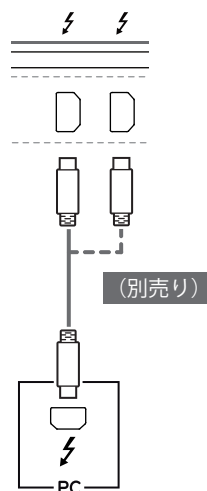


ヒント

- PC の DisplayPort のバージョンによっては、ビデオ出力または音声出力に対応していないことがあります。
- 製品に付属の DisplayPort ケーブルを使用していることを確認してください。それ以外のケーブルを使用すると、デバイスの誤作動の原因になることがあります。
- Mini DisplayPort ケーブル、DisplayPort ケーブルを使用する場合は、DisplayPort 1.2 ケーブルの使用をお勧めします。

Thunderbolt (⚡) 接続

PC とモニターを Thunderbolt 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターを Thunderbolt ケーブルで接続します。また、高性能データデバイスをモニターと接続することもできます。



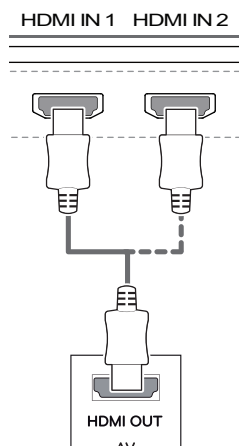
ヒント

- 各ポートの最大データ転送速度は、20 Gb/s です。
- Thunderbolt (⚡) 対応ケーブルを使用してください。それ以外のケーブルを使用すると、デバイスの誤作動の原因になることがあります。
- Thunderbolt (⚡) は Windows 7、Windows 8.1 および Mac 製品などの環境でサポートされています。
- Mac 製品によっては、推奨される解像度や一部の機能がサポートされていない場合があります。詳細については、別途提供される Mac のサポート情報カードを参照してください。
- Thunderbolt (⚡) およびデイジーチェーン技術を使用してデュアルモニターを設定できるかは、グラフィックカードの性能によって異なります。

AV 機器に接続する

HDMI 接続

AV 機器とモニターを HDMI 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターを HDMI ケーブルで接続します。



ヒント

- 製品に付属の HDMI ケーブルを使用していることを確認してください。
- DisplayPort-HDMI など、変換ケーブルを使用した場合、互換性の問題が発生することがあります。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証された HDMI ケーブルをご使用ください。保証されていない HDMI ケーブルやハイスピードでない標準 HDMI ケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次の HDMI ケーブルのご使用を推奨します。
 - ハイスピード HDMI®/TM ケーブル
 - ハイスピード HDMI®/TM ケーブル（イーサネット対応）

外部機器に接続する

USB ケーブル接続 - PC

製品の USB ポートは、USB ハブとして機能します。

ヒント

- 製品を使用する前に、最新の Windows OS サービスパックがインストールされていることを確認してください。
- 接続する USB 周辺機器は付属しません。
- キーボード、マウス、USB デバイスを USB ポートに接続できます。



注意

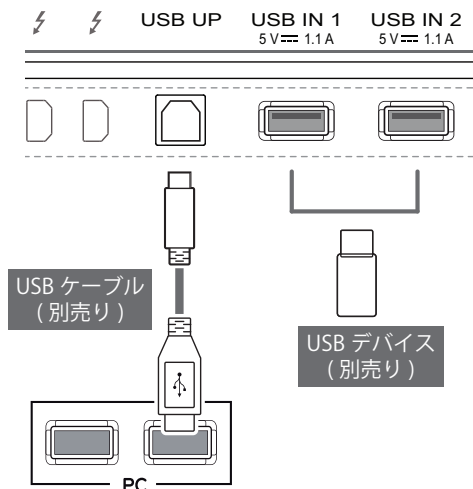
USB デバイス使用時の注意事項

- 自動認識プログラムがインストールされている USB デバイスや独自のドライバを使用する USB デバイスの場合、デバイスが正常に認識されないことがあります。
- 一部の USB デバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
- 電源のある USB ハブや、ハードディスク、光学ディスクドライブなど電力消費が大きな USB 機器は、電源ケーブルが付属し、外部から電源供給ができるものの使用をお勧めします。（供給電力が十分でない場合、USB デバイスが正しく認識されなかったり、正常に動作しないことがありますが。）

USB3.0 機能

PC とモニターを USB3.0 で接続して、ハブとして使用するとき、Type A(PC 側) - Type B(モニター側) ケーブルで接続します。

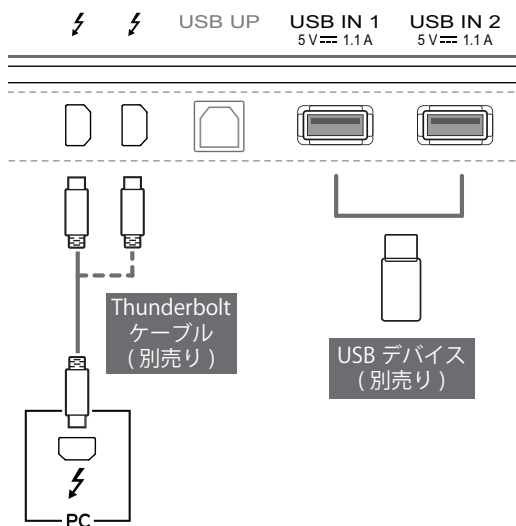
USB IN ポートに接続された周辺機器を PC から操作できます。



Thunderbolt (⚡) 接続

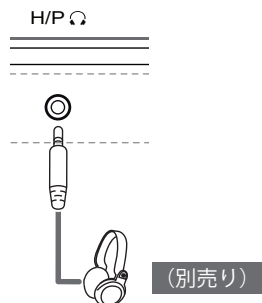
USB IN ポートに接続された周辺機器を PC から操作できます。

Thunderbolt ポートを使用してデバイスを接続している場合に、メニューから入力オプションを変更すると、USB ポートを使用して接続しているデバイスが正常に動作しなくなる場合があります。



ヘッドホンを接続する

ヘッドホンや外部スピーカーに音声を出力します。音声機器を下イラストのように、ヘッドホン端子に接続します。

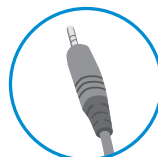


ヒント

- 周辺機器は別売りです。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L 字型になっているコネクタの場合、モニターに当たり差し込めなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。



L 型タイプ

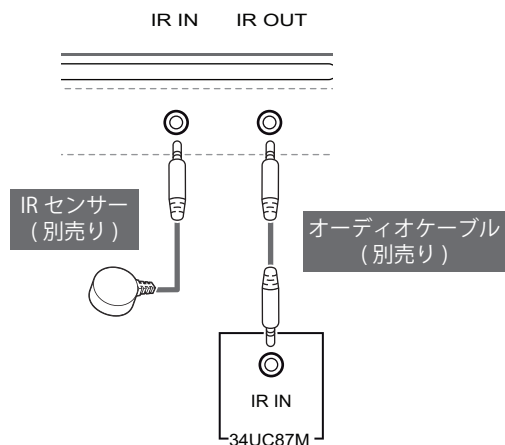


ストレートタイプ

- PC および外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカーの機能が制限されることがあります。

IR 接続

IR ポートを使用して、別のモニター（34UC87M）に IR センサーとオーディオケーブルを接続します。下のイラストのようにに接続します。



ヒント

- 電源ケーブルが取り外されていることを確認します。

LG MONITOR SOFTWARE のインストール

製品パッケージに同梱されているソフトウェア CD を PC の CD-ROM ドライブに挿入して、Screen Split をインストールします。

使用されている画像はイメージです。実際のインストール画面とは異なる場合があります。

- 1 標準の Web ブラウザを Internet Explorer に設定します。



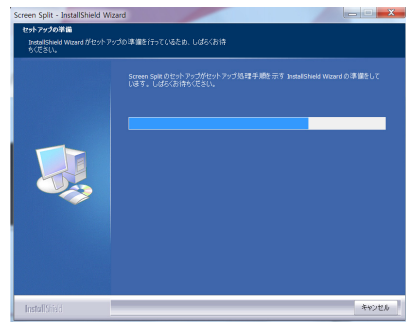
- 2 CD のメイン画面で **[Screen Split (画面分割)]** をクリックします。ファイルのダウンロードのウィンドウが表示されるので、ダウンロードを実行します。（ファイルのダウンロードのウィンドウは、オペレーティングシステムと Internet Explorer のバージョンによって異なりますが、インストールの手順は同じです）。



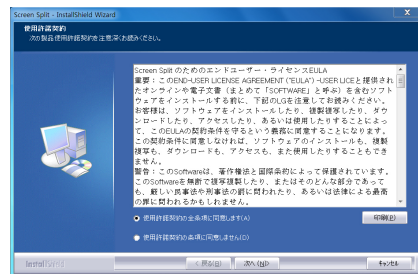
注意

- Windows 7 の場合、Service Pack 1 以上がインストールされている必要があります。

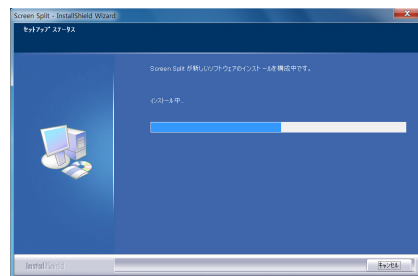
- 3 手順に従ってインストールします。



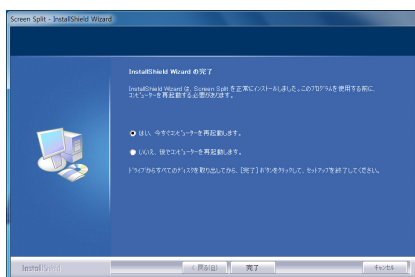
- 4 [ライセンス契約] の画面で、ライセンス契約の内容をよくお読みになり、**[同意する]** をクリックし、**[Next (次へ)]** ボタンをクリックします。



- 5 下図のように Screen Split のインストールが開始します。



- 6 インストールが完了したら、OS を再起動してください。インストールしたソフトウェアが有効になります。



ヒント

- **Screen Split** : Screen Split は、OS のウィンドウを自動的に画面全体に分割させて表示させるソフトウェアです。
- Screen Split を実行すると、Windows タスクバーの通知領域に Screen Split アイコン () が表示されます。



- Screen Split アイコンを右クリックし、希望のレイアウトを選択してください。



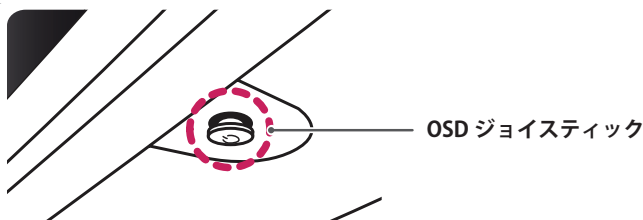
- **Dual Controller** : 現在使用している PC のキーボードとマウスで、同じネットワーク上にある別の PC を操作できるようにするソフトウェアです。

※ このソフトウェアは [PBP] モードはサポートされていません。

詳細設定

メインメニューの表示

- 1 モニターの底面にある OSD ジョイスティックを押します。
- 2 OSD ジョイスティックを前後（▲/▼）、左右（◀/▶）に倒して各オプションを設定します。
- 3 OSD ジョイスティックをもう一度押すとメインメニューが終了します。



ボタン	メニューの状態	機能
	ナビゲーション OSD 非表示時	メインメニューを表示します。
	ナビゲーション OSD 表示時	メインメニューが終了します。 (長押しするとモニターの電源をオフにできます。)
	◀ ナビゲーション OSD 非表示時	スピーカーやヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を小さくします。
	▶ ナビゲーション OSD 表示時	メニュー機能に移動します。
	▶ ナビゲーション OSD 非表示時	スピーカーやヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を大きくします。
	▶ ナビゲーション OSD 表示時	PBP メニューを表示します。
	▲ ナビゲーション OSD 非表示時	メインメニューを表示します。
	▲ ナビゲーション OSD 表示時	MaxxAudio の設定に移動します。
	▼ ナビゲーション OSD 非表示時	メインメニューを表示します。
	▼ ナビゲーション OSD 表示時	モニターをオフにします。

メインメニューの機能



● 長押し：画面オフ

メインメニュー	説明
Menu	設定メニューを表示します。
MaxxAudio	MaxxAudio の設定に移動します。
PBP	PBP(Picture by Picture) の設定を表示します。
画面オフ	モニターがオフになります。
終了	メインメニューが終了します。

ヒント

- 実際のモニターの OSD（オンスクリーンディスプレイ）は、このマニュアルで示す内容と多少異なる場合があります。

ユーザー設定

OSD メニュー

- かんたん設定

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [かんたん設定] のメニューにカーソルが移動します。
- 4 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) で選択します。
- 5 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目を表示します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 6 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。

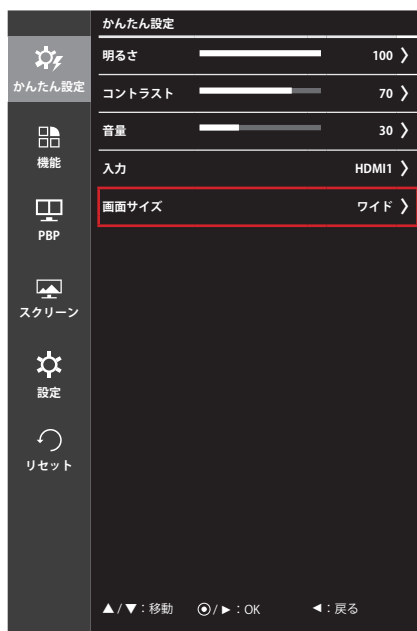


[かんたん設定] の設定メニュー

[Menu] > [かんたん設定]	説明
明るさ	画面の明るさとコントラストを調整します。(ブルーライト低減モードや SUPER ENERGY SAVING がオンになっているときはコントラストの設定は出来ません。)
コントラスト	
音量	音量を調整します。 ヒント • 音量は OSD ジョイスティックを右 (◀) に倒すと大きくなり、左 (▶) に倒すと小さくなります。 • 前 (▼) に倒すとミュートのオン/オフができます。
入力	各入力端子に接続されている機器を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。

画面サイズ

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [かんたん設定] のメニューにカーソルが移動します。
- 4 OSD ジョイスティックを、前後 (▲/▼) に倒して [画面サイズ] にカーソルを合わせます。
- 5 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目を表示します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 6 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[画面サイズ] の設定メニュー

[Menu] > [かんたん設定] > [画面サイズ]	説明
ワイド	映像ソースの解像度に関係なく画面全体に表示します。
オリジナル	映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
シネマ 1	画面を 21:9 に拡大します。映像ソースのアスペクト比が 21:9 以下の場合、上下が切れて表示されます。(1080p のとき)
シネマ 2	画面を 21:9 に拡大します。シネマ 1 で映像ソースによって字幕が切れてしまう場合、シネマ 2 の設定にすれば字幕まで表示します。(1080p のとき)
1:1	映像ソースの解像度で表示します。

ヒント

- 本機の推奨解像度 (3440 x 1440) で表示している場合は、[ワイド]、[オリジナル]、[1:1] を設定していても、表示される映像は変わりません。
- インターレース表示の場合は、画面サイズは変更できません。

機能

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して、[機能] を選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [機能] のメニューにカーソルが移動します。
- 5 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) で選択します。
- 6 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目を表示します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[機能] の設定メニュー

[Menu] > [機能]		説明	
MaxxAudio (メインメニューでジョイスティックを▲の方向に動かすと、この機能に直接移動します)	MaxxAudio	オン	スタジオオクオリティを実現したサウンドツール、Waves 社 Maxx Audio(R) を有効にします。Technical GRAMMY AWARD® を受賞した高品質サウンドをお楽しみいただけます。
		オフ	MaxxAudio 機能を無効にします。
	MaxxAudio 設定	ユーザーはサウンド品質を手動で設定できます。	
		MaxxBass	低音を増幅します。
		MaxxTreble	高音を増幅します。
		MaxxDialog	会話を増幅します。
		Maxx3D	サウンドの 3D エフェクトを強調します。
		リセット	サウンド品質をデフォルトの設定に戻します。
ブルーライト低減モード	ナイトモード		豊かなフルサウンドを、小さな音量で楽しめます。
	低減 1	新聞紙に近い色温度で表示するモードです。紙に近い色温度で表示することで、目への負担を軽減します。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューにより輝度などを調節することができます。	
	低減 2	書籍に近い色温度で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューにより輝度などを調節することができます。	
	低減オフ	ブルーライト低減モードをオフにします。	

[Menu] > [機能]	説明	
ピクチャーモード	ユーザー設定	画質調整で設定した色合いを表示します。
	フォト	写真の鑑賞に適した画質を表示します。
	シネマ	動画の鑑賞に適した画質を表示します。
	ゲーム	ゲームのプレイに適した画質を表示します。
SMART ENERGY SAVING	High	SMART ENERGY SAVING を有効にして、より消費電力を抑えます。
	Low	SMART ENERGY SAVING を有効にして、消費電力を抑えます。
	オフ	SMART ENERGY SAVING を無効にします。

ヒント

- IR機能では、ヘッドフォン使用中は MaxxAudio が無効になります。

PBP (ピクチャーバイピクチャー)

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して、[PBP] を選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [PBP] のメニューにカーソルが移動します。
- 5 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) で選択します。
- 6 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目を表示します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[PBP] の設定メニュー

[Menu] > [PBP]		説明				
PBP	ひとつの画面に、接続された二つの機器を同時に表示します。					
	PBP 接続		サブスクリーン (右)			
			HDMI 1	HDMI 2	DisplayPort	Thunderbolt (ℱ)
	メインスクリーン (左)	HDMI 1	-	O	X	X
		HDMI 2	O	-	X	X
		DisplayPort	O	O	-	X
Thunderbolt (ℱ)		O	O	X	-	
入力	メイン	メイン画面の映像信号入力を選択します。				
	サブ	サブ画面の映像信号入力を選択します。				
オーディオ		PBP で表示されているメイン / サブの出力される音声を切り替えます。				
画面切換		PBP で表示されている画面のメインとサブを入れ替えます。				
フル画面 (サブ)		PBP で表示されているサブ画面を全画面で表示します。(かんたん設定⇒入力はこの設定の端子になります。)				
画面サイズ		メイン画面またはサブ画面の縦横比を調整します。				
	メイン	ワイド	映像ソースの解像度に関わりなく、右半分全体に表示されます。			
		オリジナル	映像ソースのアスペクト比で表示されます。			
	サブ	ワイド	映像ソースの解像度に関わりなく、左半分全体に表示されます。			
		オリジナル	映像ソースのアスペクト比で表示されます。			

ヒント

- PBP モードがオフの場合、[入力]、[オーディオ]、[画面切換]、[フル画面 (サブ)]、[画面サイズ] の各メニューは無効になります。[画面サイズ] の [メイン] オプションと [サブ] オプションは、信号が来ていない場合は無効になります。

画質

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して、[スクリーン] を選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [スクリーン] のメニューにカーソルが移動します。
- 5 [画質] にカーソルを合わせ OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目を表示します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 6 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[スクリーン] の設定メニュー

[Menu] > [スクリーン] > [画質]	説明	
シャープネス	画面のシャープさを調整します。	
ブラックレベル	オフセット レベルを設定します (HDMI のみ)。 ・ オフセット ：映像信号の基準として、これがモニターの映像がで表示できる最も暗い色です。	
	High	画質が明るくなります。
	Low	画質が暗くなります。
応答速度	パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。標準的な環境の場合、[Middle] を使用することをお勧めします。動きの速い映像の場合、[High] を使用することをお勧めします。 [High] に設定すると、残像 (オーバーシュート) が発生することがあります。そのような場合、表示ソースに合わせて適切なポジションに設定ください。。	
	High	応答速度を [高] に設定します。
	Middle	応答速度を [中間] に設定します。
	Low	応答速度を [低] に設定します。
	オフ	オーバードライブをオフにして、パネルの基本速度になります。

色指定

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して、[スクリーン] を選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [スクリーン] のメニューにカーソルが移動します。
- 5 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して、[カラー] にカーソルを合わせます。
- 6 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目を表示します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[スクリーン] の設定メニュー

[Menu] > [スクリーン] > [カラー]	説明	
ガンマ	ガンマ値を設定する：ガンマ 0, ガンマ 1, ガンマ 2。高いガンマ値で表示された画像が白っぽくなります。低いガンマ値で表示された画像が黒っぽくなります。	
色温度	カスタム	ユーザーは、カスタマイズによりこの設定を赤、緑、青のいずれかに調整できます。
	Warm (暖色 5,000K)	画面の色温度を暖色系（より赤い）に設定します。
	Medium (中間 6,500K)	画面の色温度を中間に設定します。
	Cool (寒色 9,300K)	画面の色温度を寒色系（より青い）に設定します。
赤	赤、緑、および青のレベルを手動で設定します。	
緑		
青		
6色相環	6色（赤_色合い, 赤_彩度, 緑_色合い, 緑_彩度, 青_色合い, 青_彩度, シアン_色合い, シアン_彩度, マゼンタ_色合い, マゼンタ_彩度, イエロー_色合い, イエロー_彩度）の色と彩度を調整し、設定を保存することにより、より細かくお好みの色合いを設定できます。	
	色合い	画面の色調を調整します。
	彩度	画面の色の彩度を調整します。値を低くするほど、飽和度が下がり、明るくなります。値を高くするほど、飽和度が上がり、暗くなります。
リセット	カラー設定をデフォルト設定に戻します。	

設定

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して、[設定] を選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [設定] のメニューにカーソルが移動します。
- 5 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) で選択します。
- 6 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目を表示します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。

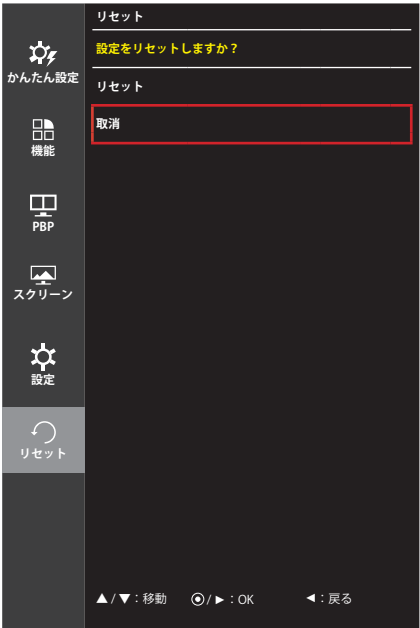


[設定] の設定メニュー

[Menu] > [設定]	説明
言語	OSD メニューなど、画面に表示される言語を選択します
電源 LED	モニターの前面にある電源 LED のオン / オフを切り替えます。
	オン 電源 LED が自動的にオンになります。
	オフ 電源 LED がオフになります。
自動スタンバイ	一定時間画面で動きがないと、モニターを自動的にオフにする機能です。自動オフ機能のタイマーを設定できます（オフ、4 時間、6 時間、8 時間）。
DisplayPort 1.2	DisplayPort 1.2 を有効または無効にします。 ヒント グラフィックカードに対応しているバージョンの DisplayPort に応じて有効または無効にしてください。グラフィックカードと互換性のない場合は無効に設定してください。
OSD ロック	OSD の設定可能な項目を制限します。
	オン 設定可能な項目を制限します。 オンにしても設定が可能な項目は以下の通りです。 ・[かんたん設定] > [明るさ] [音量] [入力] ・[設定] > [OSD ロック] 上記以外の項目を設定するときは、[OSD ロック] をオフにしてください。
	オフ 使用環境で設定可能な項目すべてを設定できます。
セット ID	複数のモニターを接続する場合、製品ごとに固有のセット ID 番号を割り当てることができます（名前の割り当て）。ID（1～6）を指定します。製品制御プログラムでは、割り当てられたセット ID を使用して各製品を個別に制御します。

リセット

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して、[リセット] を選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [リセット] のメニューにカーソルが移動します。
- 5 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) で選択します。



[リセット] の設定メニュー

[Menu] > [リセット]		説明
設定をリセットしますか？		
リセット		初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期状態になりますので、ご注意ください。
取消		リセットを行わず、メニューアイコンの選択に戻ります。

困ったとき

画面に何も表示しない。	
画面に何も映らない	- 電源コードがコンセントに正しく接続されているかを確認してください。 - モニターの電源ボタンを押してモニターの電源が入っているかを確認してください。
電源をオンにして、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない	- 画面の設定が暗くなっている可能性があります。OSD メニューで明るさ、コントラストを調整してみてください。 - 接続機器が黒画面を出力している可能性があります。接続機器が正常に動作しているかを確認してください。
LED ランプが点滅している	- モニターが省電力モードになっている可能性があります。マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、PC のスリープモードを解除させてください。 - PC の電源が入っているか確認してください。
画面に「範囲超過」と表示される	- PC (グラフィック カード) から伝送された信号が、モニターの水平周波数または垂直周波数の範囲から外れている場合、または出力される OS の解像度がモニターより大きなサイズに設定されている場合に表示されます。 - 本説明書の「製品仕様」を参照して、OS 上で適切な周波数または、解像度に設定してください。
画面に「NO SIGNAL」と表示される	- モニターに映像信号が伝送されていないときに表示されます。接続機器やモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。また、接続機器が正常に起動しているかを確認してください。 - 接続されていない端子が表示されている可能性があります。入力設定が接続されている端子になっているかを確認してください。(19 ページ)
DisplayPort で Mac を接続したら、画面が正しく表示されない	Mac 製品によっては DisplayPort 1.2 がサポートされない場合があります。製造メーカーにお問い合わせください。

OSD の一部の機能をコントロールすることができない。	
OSD で設定できない項目がある	OSD がロックされています。[Menu] > [設定] の順に選択し、[OSD ロック] を [ロック解除] に設定します。

画面に残像が生じる。	
モニターの電源を切っても残像が見える	- 静止画映像を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じることがあります。 - モニターの映像を長時間使用する場合は、OS でスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される。	
画面がちらつく	選択した解像度が HDMI 1080i 60/50 Hz (インターレース) の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を 1080P または推奨解像度に変更してください。

ヒント

- 垂直周波数：**映像を表示するためには、蛍光灯のように毎秒何十回も画面をリフレッシュしなければなりません。
1 秒間で画面がリフレッシュされる回数を「垂直周波数」または「リフレッシュ レート」と呼びます。単位は Hz です。
- 水平周波数：**横線 1 本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1 秒間で表示される横線の本数は、1 を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを水平周波数と呼びます。単位は kHz です。

ヒント

- [コントロールパネル]>[画面]>[設定]の順に選択して、グラフィックカードの解像度または周波数がモニタの許容範囲にあるかどうかを確認し、推奨される（最適な）解像度に設定してください。
- グラフィックカードを推奨される（最適な）解像度に設定しないと、文字がぼやけたり、画面がかすれたり、表示領域が表示領域からはみ出したり、表示位置がずれたりすることがあります。
- 調整の手順は、お使いのコンピュータまたはオペレーティングシステムによって異なる場合があります。また、グラフィックカードによっては、一部の解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、コンピュータまたはグラフィックカードの製造業者にお問い合わせください。
- 一部のグラフィックカードは、解像度 3440 x 1440 をサポートしていない場合があります。この解像度を表示できない場合は、コンピュータまたはグラフィックカードのメーカーにお問い合わせください。

表示色が適切に表示されない。

色が正常に表示されない。	• 信号ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。 • グラフィックカードがスロットに正しく挿入されていることを確認してください。 ※ グラフィックカードの確認をする際は必ず PC の電源をコンセントから抜いて確認してください。 • [コントロール パネル] ▶ [画面] ▶ [設定] (OS によって異なります) から、OS 上の表示色を 24bit または 32bit の True Color に設定してください。
画面上に小さな点が表示される	• 液晶パネルは高精度な技術で作られており、画面の一部にドット抜け（ごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点）が見えることがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

ヘッドフォンポートから音が聞こえない。

DisplayPort または HDMI を出力しているときに音声が出ない	• ヘッドフォンポートが正常に接続されていることを確認してください。 • OSD ジョイスティックで音量を確認し、調整してください。(21 ページまたは 22 ページ) • PC のオーディオの出力先を、使用中のモニターに設定します。Microsoft Windows で [コントロールパネル]>[ハードウェアとサウンド]>[サウンド] の順に選択して、モニターを既定のデバイスとして設定します。 • Windows や PC の再生ソフトウェアの音量レベルを確認してください。
---------------------------------------	---

仕様

LCD 画面	タイプ	TFT (Thin Film Transistor) LCD (Liquid Crystal Display) 画面	
	カラー階調	HDMI	8bit カラー (約 1,677 万色) サポート
		DisplayPort	10bit カラー (約 10.7 億色) サポート
		Thunderbolt (⚡)	8bit カラー (約 1,677 万色) サポート
	ピクセルピッチ	0.2325 mm x 0.2325 mm	
解像度	HDMI	最大解像度	3440 x 1440 @ 50 Hz
		推奨解像度	3440 x 1440 @ 50 Hz
	DisplayPort Thunderbolt (⚡)	最大解像度	3440 x 1440 @ 60 Hz
		推奨解像度	3440 x 1440 @ 60 Hz
映像信号	水平周波数	30 kHz ～ 90 kHz	
	垂直周波数	56 Hz ～ 61 Hz	
	同期	セパレート同期	
入力コネクタ	H/P OUT, HDMI IN 1, HDMI IN 2, DP (DisplayPort) IN, Thunderbolt (⚡), USB UP, USB IN 1, 2, IR IN, IR OUT		
電源	電圧	19 V --- 6.0 A	
	消費電力 (通常)	動作モード : 80 W (通常、USB を除く) 100 W (最大、USB を含む、音声出力 50% 時) スリープモード ≤ 1.2 W オフモード ≤ 0.5 W オフモード ≤ 0.3 W (DC スイッチはオフ。)	
AC/DC アダプタ	タイプ LCAP31 (Lienchang 製) 出力 : 19 V --- 7.37 A		
スタンドの傾きの調整	前方 / 後方 : -5° ～ 15° (モニタ)		
環境条件	動作条件	温度 : 10° C ～ 35° C 湿度 : 10% ～ 80%	
	保管条件	温度 : -20° C ～ 60° C 湿度 : 5% ～ 90%	
スピーカーのワット数	7 W + 7 W		
対応 OS	Windows 7、Windows 8.1、Mac OS*		

寸法	モニターサイズ (幅 x 高さ x 奥行)	
	スタンド装着時	830.5 mm x 460.8 ～ 600.8 mm x 241.4 mm
	スタンドなし	830.5 mm x 370.3 mm x 79.8 mm
重量 (パッケージを除く)	スタンド装着時	10.0 kg
	スタンドなし	8.0 kg

仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。

* Mac 製品によっては、推奨される解像度や一部の機能がサポートされていない場合があります。
(詳細については、別途提供される Mac のサポート情報カードを参照してください。)

工場サポートモード（プリセットモード、HDMI/ DisplayPort/ Thunderbolt PC）

プリセットモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	極性 (H/V)	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1152 x 864	54.347	60.05	+/+	
1280 x 720	45	60	+/+	
1280 x 1024	63.981	60.02	+/+	
1600 x 900	60	60	+/+	
1680 x 1050	65.29	59.954	-/+	
1920 x 1080	67.5	60	+/-	
2560 x 1080	66.7	60	-/+	
3440 x 1440	43.82	29.99	+/+	
3440 x 1440	73.68	49.99	+/+	
3440 x 1440	88.82	59.97	+/+	HDMI はサポートされていません。

HDMI タイミング（映像）

プリセットモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	備考
480P	31.5	60	
720P	45	60	
1080P	67.5	60	

電源インジケータ

モード	LED の色
オンモード	白
スリープモード	白く点滅
オフモード	オフ

正しくご使用いただくために

モニターを使用するときの正しい姿勢

画面がわずかに目より低くなるように角度を調整します。

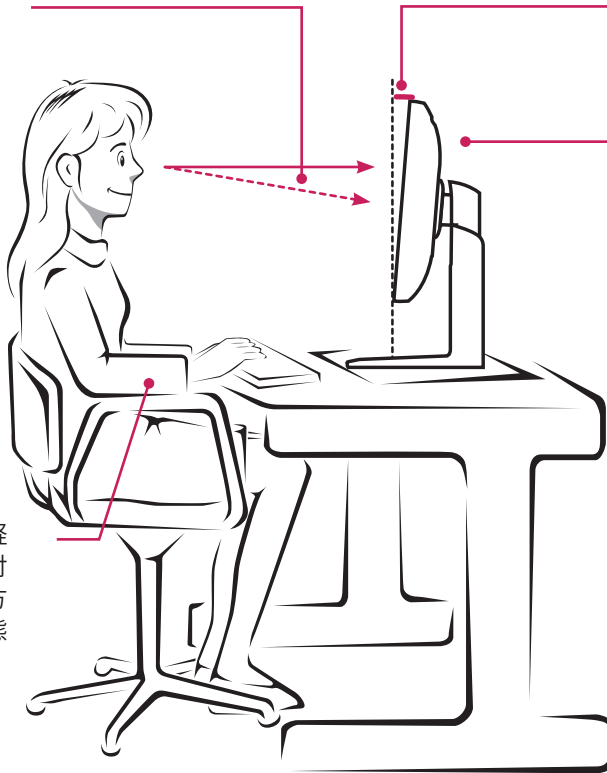
- 長時間の使用による疲労を軽減するため、1時間ごとに約10分間の休憩を取るようになさってください。
- 画面が一番見やすくなるよう、スタンドの角度を -5° ～ 15° の範囲で調整します。

画面を見る視線が少し下を向くようにします。

角度を調整
 -5° ～ 15°

画面に蛍光灯などの光が反射しない角度に調整します。

両手をキーボードに軽く載せます。腕は、肘のところで曲げて前方に水平に伸ばした状態を維持します。





この機器は家庭用電気製品の EMC 要件（クラス B）を満たしており、家庭使用向けです。この機器はすべての地域で使用できます。取扱説明書（CD）をよく読み、すぐに参照できるようにしてください。製品に貼付けられたラベルには、技術サポート情報が記載されています。

モデル _____

シリアル _____

ENERGY STAR is a set of power-saving guidelines issued by the U.S. Environmental Protection Agency (EPA).



As an ENERGY STAR Partner LGE U. S. A., Inc. has determined that this product meets the ENERGY STAR guidelines for energy efficiency.

Refer to ENERGY STAR.gov for more information on the ENERGY STAR program.